

国道168号 小代下トンネル補修工事【奈良県五條市大塔町】

対策前

落下の可能性があるブロック

水平打継ぎ目

通常ルート
約31km
約40分

約5倍の迂回
迂回ルート
約157km
約3時間40分

撤去状況

対策後

目地・打継ぎ目

目地・打継ぎ目

復旧状況

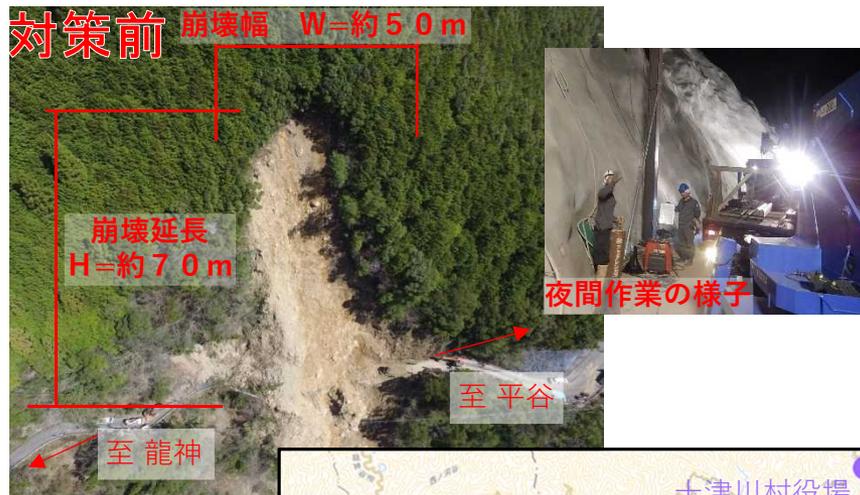
Before:

- 材質劣化により、覆工コンクリートの水平打継ぎ目にひび割れ・浮き・漏水が発生
- 放置した場合、目地・打継ぎ目とつながり大きなブロックが落下する恐れがあり、第三者被害が発生する危険性があった。
- さらに、通行止めとなった場合、広域迂回を強いられ、交通機能の大幅な低下となる。

After:

- ひび割れのあるコンクリートを速やかに撤去・復旧し老朽化に起因する事故や通行止めのリスクを防止
- 第一次緊急輸送道路としての交通機能を確保
- 損傷が進行する前に予防保全に取り組むことで、工事の規模が小さくなり、交通への影響も最小限に留めることができた。

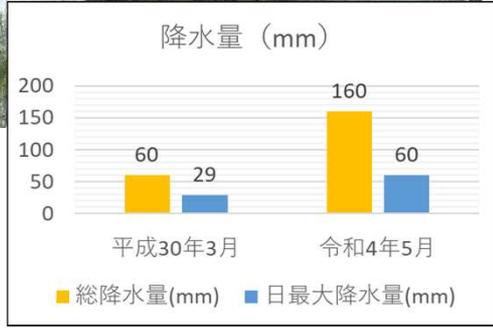
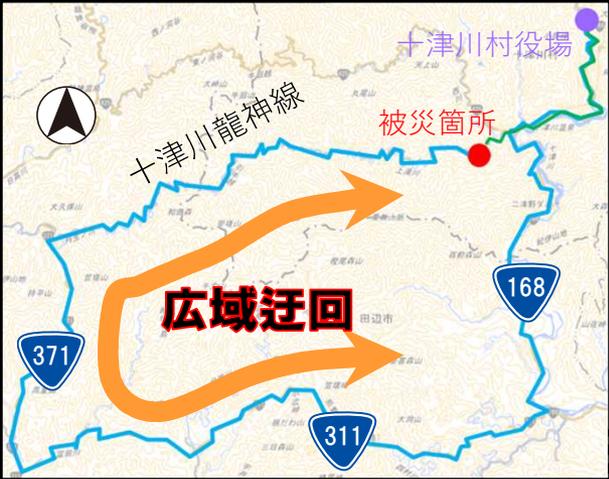
龍神十津川線 法面对策工事【奈良県十津川村平谷】



通常ルート
約14km(約20分)

迂回ルート
約107km(約2時間30分)

約7.6倍の迂回



- Before:**
- 平成30年3月の豪雨により、崩壊延長70m、幅50mの法面崩壊が発生
 - 応急復旧は1か月にわたり、その間全面通行止め
 - 西側の住民は広域の迂回を強いられることとなった。

- After:**
- 令和3年10月に法面对策工事が完了し、安全に通行が可能となった。
 - 法面对策工事を実施したことにより、翌年には対策前を上回る降水量を観測したにも関わらず、法面崩落被害を防止し、道路の通行機能を確保